MODELLISTA

MSD44－26001/2
サイドスカート

取付・取扱要領書

この度はモデリスタ サイドスカートをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取り付け、取り扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取り付け前に必ずお読みのうえ、正しい取り付け、取り扱いを実施してください。

★ 本商品は登録後架装を前提としています。

■ 品番・適合車種

品　番	塗装色	適合車種	備　考
MSD44-26001-A2	プラチナホワイトパールマイカ(089)	ハイエース 型式：TRH20##,KDH20## GDH20#V （除く：4ドア）	
MSD44-26001-C0	ブラックマイカ(209)		
D2611-21010-C0	ブラックマイカ(209)		
MSD44-26001-C1	スパークリングブラックパールクリスタルシャイン(220)		
D2611-21010-C1	スパークリングブラックパールクリスタルシャイン(220)		
MSD44-26002-NP	未塗装品		
D2611-21010-00	未塗装品		

・最新の適合情報はモデリスタ カタログサイトをご覧ください。https://www.modellista.co.jp/

■ 構成部品

No.	品　名	数量	備考
①	サイドスカート(R/L)	1set	
②	リテーナー(R/L)	1set	
③	グロメット(φ15)	6	
④	タッピングスクリュー (M6X16)	10	
⑤	Jナット(M6)	4	
⑥	ブラケット(MJ3)	6	
⑦	トラスボルト(M6X16)	6	
⑧	ホールプラグ(1G70)	12	
⑨	PACプライマー(赤袋)	1	N-200　08867－00220

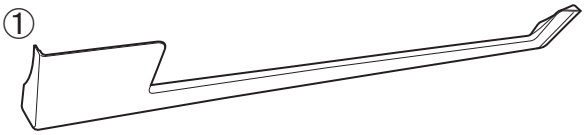
以下、MSD44－26002－NP(未塗装品セット)のみに同梱

No.	品　名	数量	備考
⑩	エンドモール(S)	各2	グレー/ブラック

※確認・本商品が到着後すぐに、本体に破損がないこと、付属品がそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図

①



②



※RH／LH表記有り

③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨



※⑧ホールプラグは寒冷地仕様車
及びインテリジェントシルバートーニング＜２ＪＮ＞車で使用します。

以下、MSD44－26002－NP(未塗装品セット)のみに同梱

⑩



⑩エンドモール推奨使用色

塗装色(色記号)	モール色
ホワイト (058)	グレー
ホワイトパールクリスタルシャイン (070)	グレー
プラチナホワイトパールマイカ (089)	グレー
シルバーマイカメタリック (1E7)	グレー
ブラックマイカ (209)	ブラック
スパークリングブラックパールクリスタルシャイン (220)	ブラック
ライトイエロー (599)	グレー
ダークブルーマイカメタリック (8P4)	ブラック
ベージュ (4V6)	グレー
アーバンカーキ (6X3)	グレー

取り付け上のご注意（取り付け作業者の方へ）

作業を行なう前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行なってください。

⚠警告	この内容に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行なうと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。
⚠注意	注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行なうと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。
アドバイス	スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⃠ やってはいけないこと　　❗ 必ず行なっていただくこと

⚠警告

⃠ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行なわないでください。
❗ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項を守り作業を行なってください。
❗ 取り付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが足らないと脱落等により重大な事故や故障を招くおそれがあります。

⚠注意

❗ 本商品を取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
❗ 本商品の取り付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行ない、同時に取り付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行なってください。取り付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

⃠❗ 脱脂作業を行なう際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)を使用し、記載以外の溶剤は絶対に使用しないでください。
⃠ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナー等の溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
⃠ 両面テープは一度貼り付けてから剥がすと、接着力が低下し再貼り付けはできません。
⃠ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。低温で接着した場合、両面テープが剥がれる可能性があります。
❗ 両面テープの圧着は49N（5kgf）以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行なってください。圧着が不足した場合、両面テープが剥がれる可能性があります。
⃠ 本商品の取り付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

取り付けが終わったら

❗ 取り付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
❗ 作業でバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行なってください。
❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行なってください。

■ 目次

１．表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１～２
２．取り付け上のご注意（取り付け作業者の方へ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
３．目次、取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取付構成図・・・・・・・４
４．取付準備、取付要領・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５～８
５．取付完了後の点検・注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
６．未塗装品の取り扱いについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９
７．補修キット両面テープ貼り付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０

■ 取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

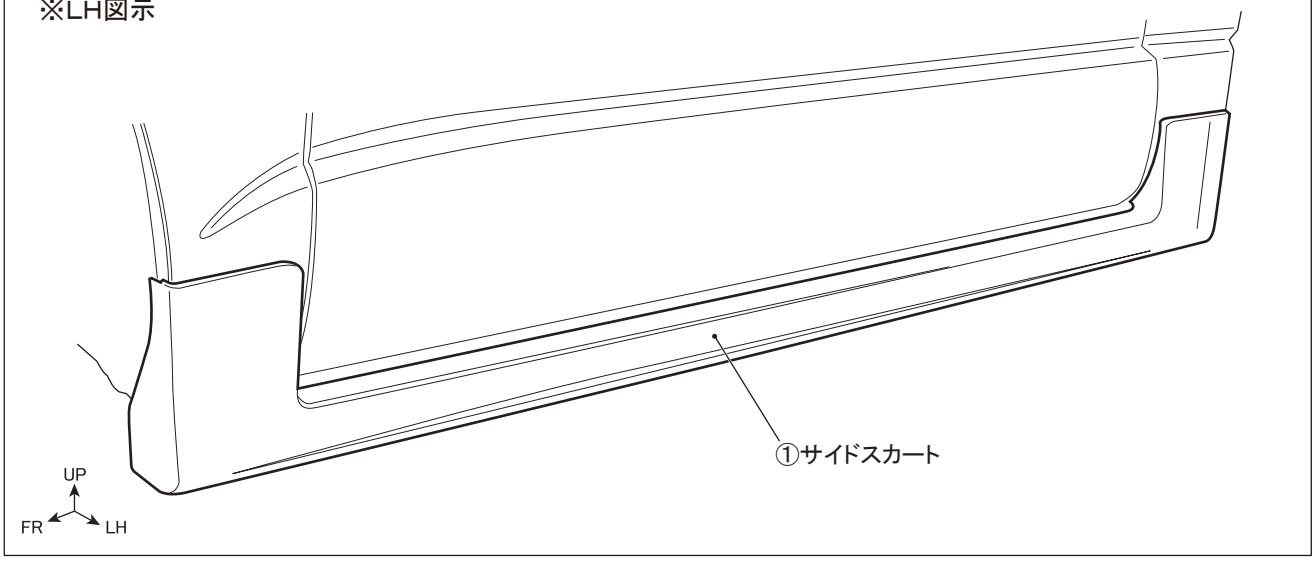
・一般工具
・加工用工具（ハサミ・カッター等）
・軍手・保護メガネ・保護シート・保護テープ・マスキングテープ・養生テープ
・イソプロピルアルコール（IPA）・清潔なウエス

■ 保証について

本商品は、1年・20,000kmの保証を実施致します。
（1年または20,000km走行時点のいずれか早い方まで）
※保証の詳細はモデリスタ パーツカタログサイト＜https://www.modellista.co.jp/＞
「保証について」をご覧ください。

■ 取付構成図

※LH図示



■ 取付準備、取付要領

【車両部品の取り外し作業】

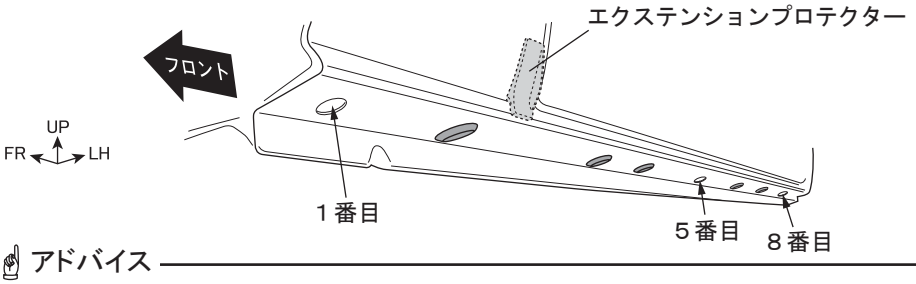
1. 図1のように、車両下面のホールプラグ（1・5・8番目）を取り外す。

アドバイス：取り外したホールプラグは復元時に再使用しません。

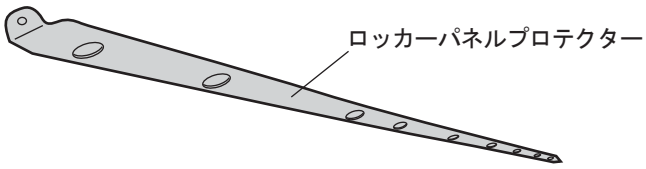
※**寒冷地仕様車の場合**、エクステンションプロテクターは取り外します。
※**寒冷地仕様車及びインテリジェントシルバートーニング＜2JN＞車の場合**、ロッカーパネルプロテクターを外し、**1，5，8番目以外**の既存ホールプラグを⑧ホールプラグに付け換える。

図1　※ LH図示　左右共通作業

アドバイス
※寒冷地仕様車のみエクステンションプロテクターを取り外して下さい。



アドバイス
※寒冷地仕様車及びインテリジェントシルバートーニング＜２ＪＮ＞車のみ

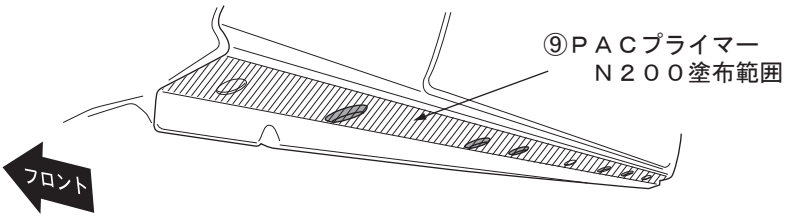


ロッカーパネルプロテクターを外し、１，５，８番目以外の既存ホールプラグを⑧ホールプラグに付け換える

【リテーナーの取り付け】

1. 車両ロッカーパネル下側の両面テープ接着面（斜線部）を確認し⑨PACプライマーN200を塗布する。塗布後⑨PACプライマーN200は揮発性が高いので、使用後は速やかに袋に戻し封をする。（図2参照）

図2　※ LH図示　左右共通作業

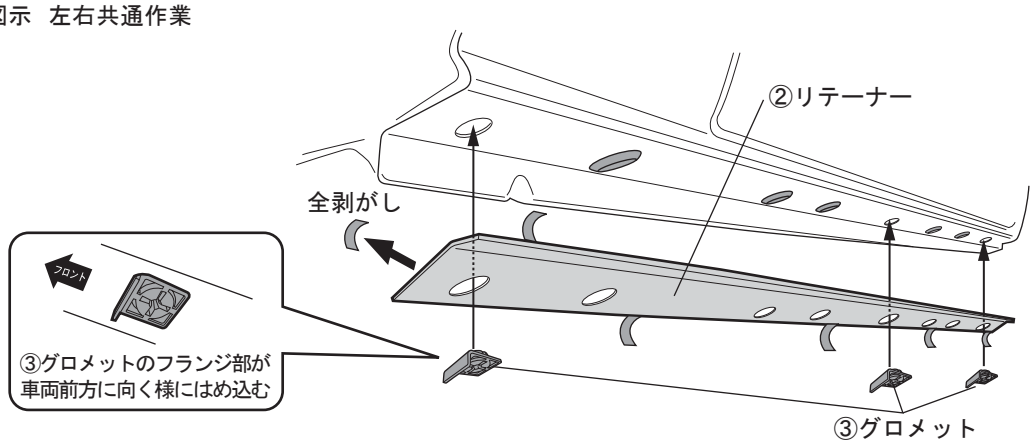


⚠注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール（IPA）で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

アドバイス：ボディーコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部分を塗装用コンパウンドで除去して下さい。

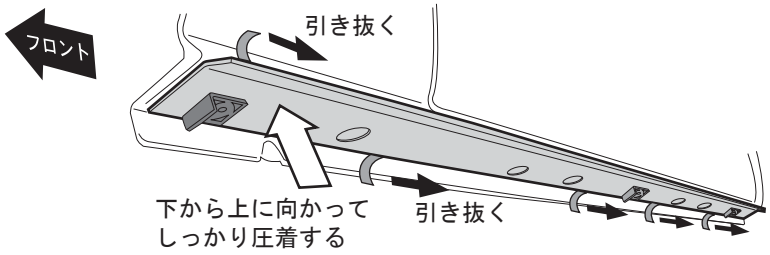
2. ②リテーナーの両面テープ離型紙を一部剥がし、表面に折り返してマスキングテープで貼り付ける。(図3参照)
②リテーナーを車両ロッカーパネルに合わせ、1、5、8番目の取付け穴に③グロメットを取り付ける。その際、③グロメットのフランジ部が車両前方に向く様に取り付ける。

図3 ※LH図示 左右共通作業



3. 図4のように、②リテーナーの両面テープの離型紙をフロント側から順に引き抜きながら下から上に向かってしっかり圧着する。

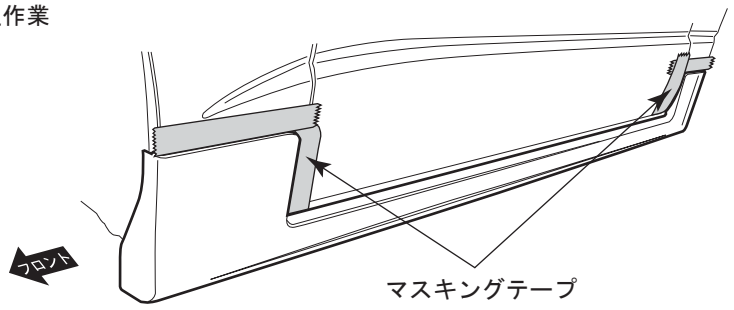
図4 ※LH図示 左右共通作業



【仮組とプライマー塗布】

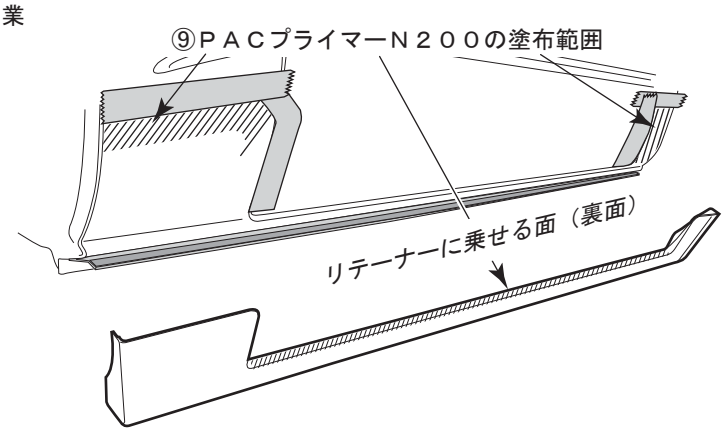
1. ①サイドスカートを車両に合わせ、各取付位置を確認し、前後フェンダー部をエンドモール上端に合わせてマスキングする。(図5参照)

図5 ※LH図示 左右共通作業



2. ①サイドスカートを一旦取り外し、両面テープ貼り付け部(左図斜線部)をイソプロピルアルコール(IPA)で一方向に拭いて脱脂し、⑨PACプライマー(赤袋)(N-200) を塗布する。(図6参照)

図6 ※LH図示 左右共通作業



⚠注意: 脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

⚠注意: 脱脂作業を行う際は、換気に注意して火気を近づけないようにしてください。

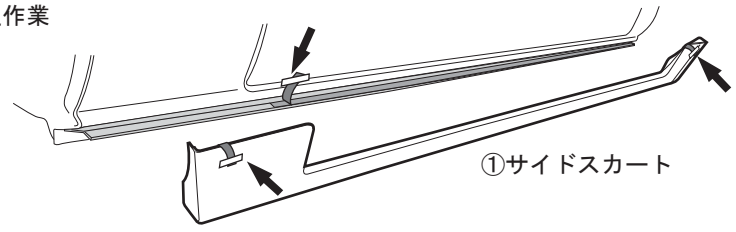
⚠注意: プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール(IPA) で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

アドバイス: 脱脂後は、十分に乾燥させてください。

【取付準備】

1. 図7のように、①サイドスカート②リテーナーの両面テープ離型紙を一部剥がし、表面に折り返してマスキングテープで貼付ける。

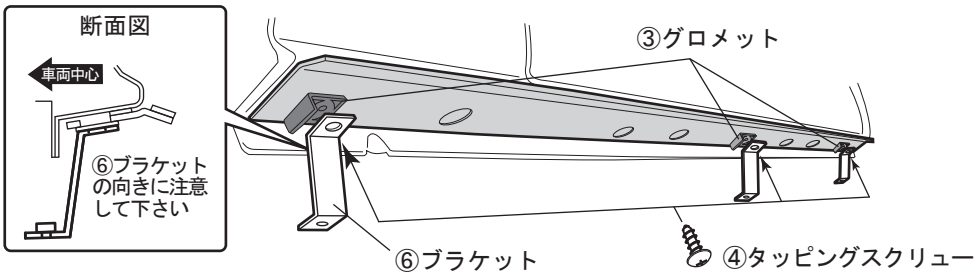
図7 ※LH図示 左右共通作業



【取り付け】

1. 図8のように、リテーナーに取付けた③グロメットに⑥ブラケットを④タッピングスクリューで仮締めする。

図8 ※LH図示 左右共通作業



2. 図9のように、①サイドスカートを前基準で車両に合わせ、リヤ側ホイールアーチ部に⑤Jナットを差し込み、ホイールアーチ部を④タッピングスクリューで車両に仮締めする。

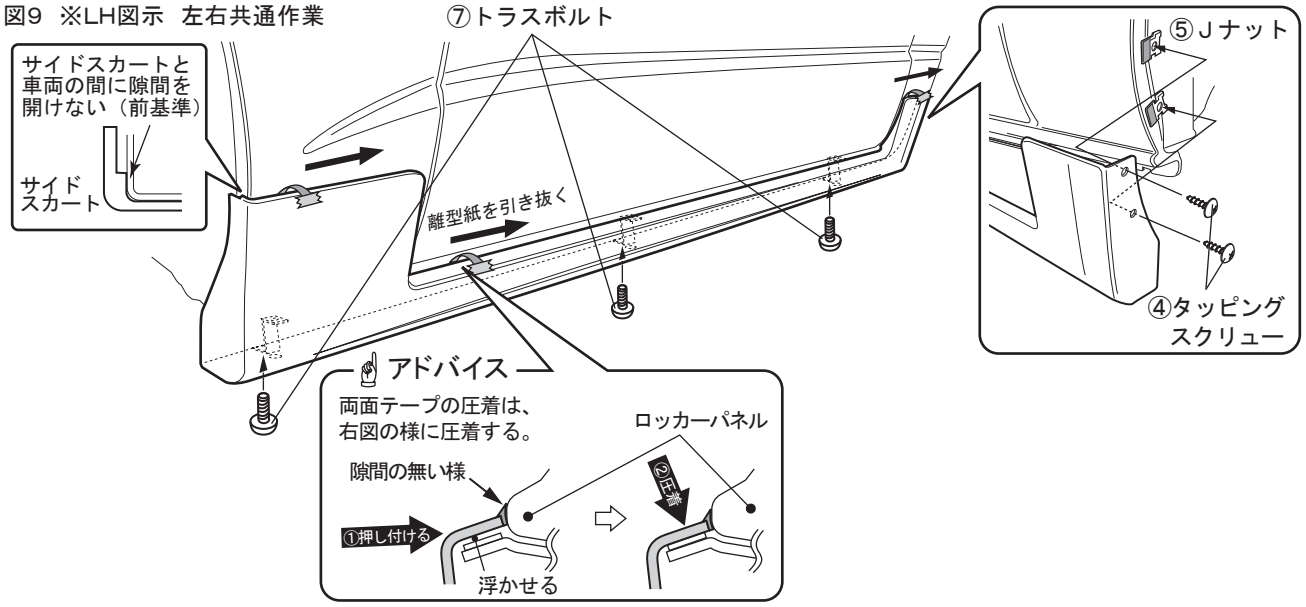
   2.で取り付けた⑥ブラケットと①サイドスカート下面を⑦トラスボルトで仮締めする。

   両面テープの離型紙を車両前側から順に後方に引き抜き、圧着方向に注意しながら圧着する。

アドバイス：離型紙が途中で切れない様に、①サイドスカートを少し浮かしながら離型紙を引き抜いて下さい。
両面テープの圧着は、49N(5kgf/㎠)程度の力で行なって下さい。

アドバイス：両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下しますので、気を付けて作業して下さい。

図9 ※LH図示 左右共通作業



3. 両面テープ貼り付け後、3時間以上放置してから④タッピングスクリュー、⑦トラスボルトを全て本締めする。

■ 取付完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びサイドスカート廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
   該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行なってください。
4. 両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。製品の取り付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、掛からないようにオープンタイム（静止時間）をお取りください。
5. 両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。両面テープ接着後、24 時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

■ 未塗装品の取り扱いについて

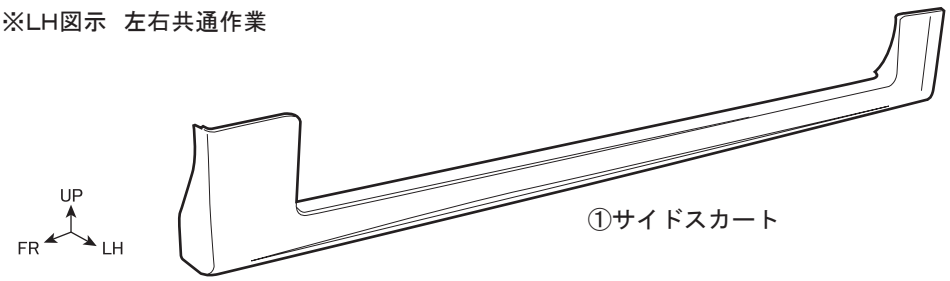
下記は未塗装品（MSD44-26002-NP）（D2611-21010-00）の塗装前、塗装後の作業を記載しています。
下記要領に従い作業を行なってください。

⚠注意：本製品は下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。塗装前の下地処理として、
足付け、脱脂、プライマーサフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。

□ サイドスカートの塗装

1. ①サイドスカートを車両色で塗装する。
※塗装面の汚れ、ゴミ、ほこり等をウエスで取り除き、必ず脱脂を行ない、塗料はウレタン系をご使用ください。

図10 ※LH図示 左右共通作業



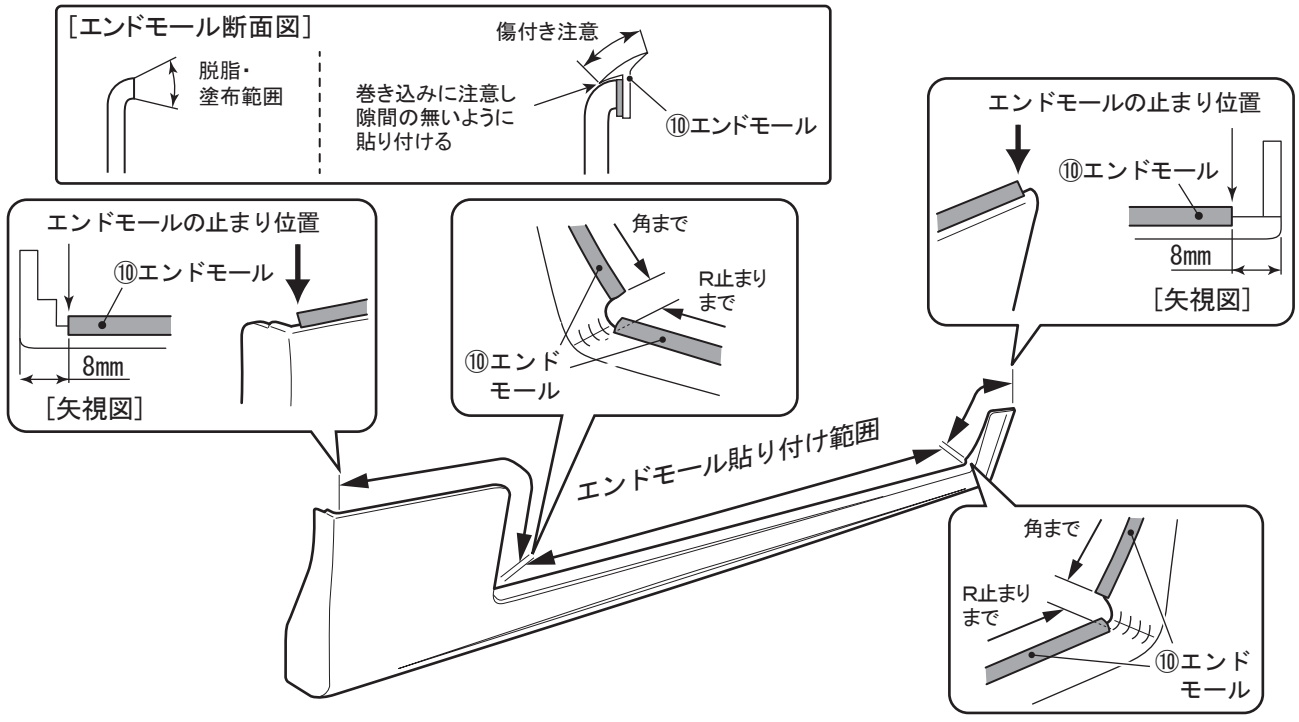
⚠注意：本製品の素材は〈ABS〉です。乾燥温度を60℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので
乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

⚠警告：両面テープには、 絶対に塗装しないでください。 接着力が低下します。
マスキングテープを貼るなどして対応してください。

□ エンドモールの貼り付け

1. 塗装終了後、⑩エンドモールを貼り付ける部分を脱脂し、⑨PACプライマーN200を塗布する。（図11参照）

図11 ※LH図示 左右共通作業



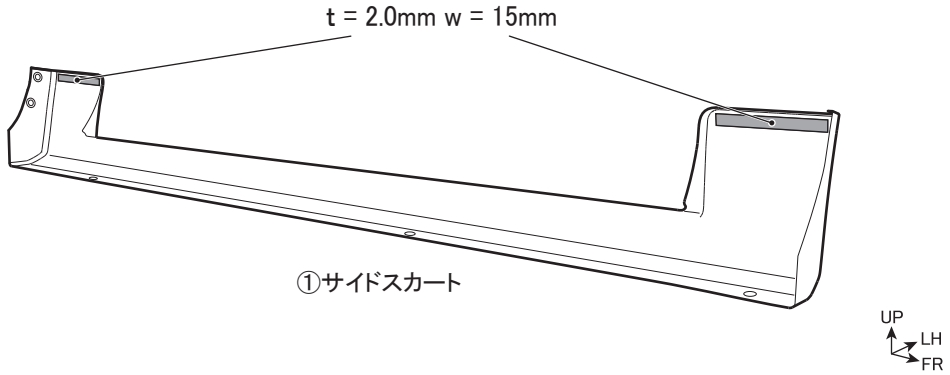
⚠注意：PACプライマーは、サイドスカート取り付け時に再使用します。揮発性が高いので速やかに袋に戻し揮
発を抑えてください。

⚠注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール（IPA）で拭き取ってください。
付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

■ 補修キット両面テープ貼り付け

1. 補修キットを使用して①サイドスカートの再取り付けを行なう際は、下図を参考に両面テープを選択し貼り付ける。
   ※ 両面テープを貼り付ける際は、貼り付け部を脱脂し、プライマーを塗布する。

図12



株式会社トヨタカスタマイジング＆ディベロップメント
モデリスタ商品問い合わせ窓口
TEL:050-3161-1000
https://www.modellista.co.jp/

MODELLISTA

脱脂作業要領書

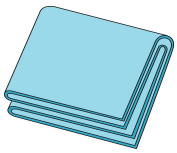
本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のＱＲコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

①エアロ取付準備・脱脂　　（約 3 分）
②エアロ位置決め・取付・圧着（約 6 分）
③デカール準備・水貼り・圧着（約 4 分）
合計　約 13 分

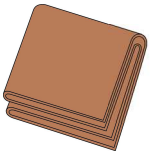
■　取付け時の脱脂作業に必要な工具等


水拭き用バケツ


合成セーム皮


脱脂剤用
スプレーボトル


ゴム手袋


DRY 用
ウエス


WET 用
ウエス


イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■　脱脂作業上の注意事項

1．ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2．隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
　※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3．脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4．脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5．脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠注　意・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
≪脱脂作業前に≫以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■　脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
  汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
  ※コーティング剤が残っていると両面テープはハガレます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■　脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

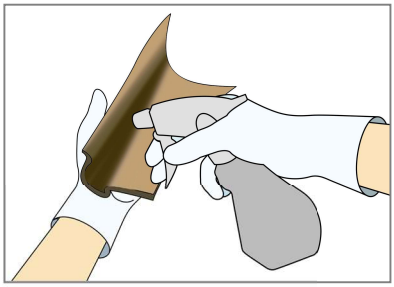

水拭き用バケツ


合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。


WET 用ウエス

※　ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。

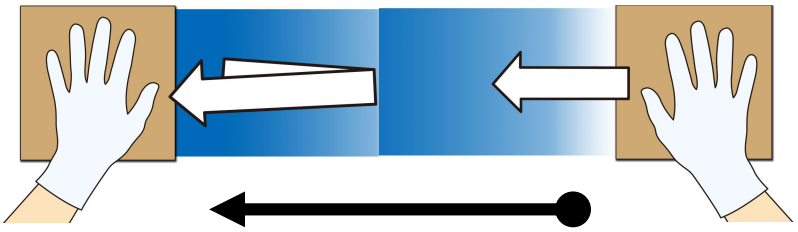


WET 用ウエスにスプレーボトルを５cm ほど離して、初回は１０回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で５回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】
脱脂剤を含ませたウエスで
１往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

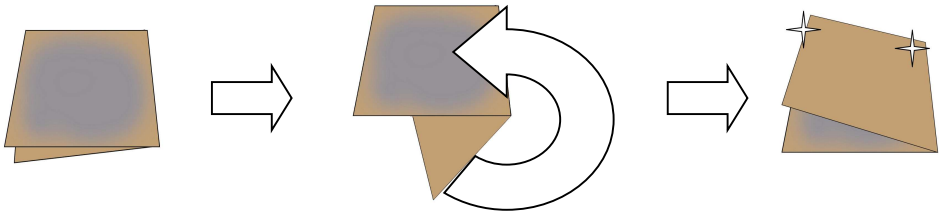
②【DRY 拭き】
DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



１ブロック６０ｃｍ程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。
範囲が広い場合は１ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる

WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。
（上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。）

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・ DRY 拭きを行ってください。



WET／DRY のウエス共に３～５ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。